

11月15日（水）県立伊香高等学校を訪問しました！

対談テーマ

魅力ある県立高校づくりについて

地域と連携・協働した学びや伊吹高校とのICTを活用した遠隔合同授業等の魅力ある高校づくりに向けた取組について視察し、県立高等学校が主体的に取り組む魅力化について対談しました。

訪問した委員

土井 真一 委員 岡崎 正彦 委員 野村 早苗 委員



県立伊香高等学校について



創立126年目を迎える伝統校で、自然に囲まれた環境の中、地域と密接に連携を取りながら、「超えてゆけ☆」を合言葉に教育活動を行っています。進学を中心とする「特進クラス」と3つのコース“スポーツ健康”“自然環境”“地域文化”から自分の興味に合ったコースを選択できる「特色クラス」があり、多様な進路に対応した学びができる学校です。

意見交換より

委員：地域と連携した学びや学校づくりに取り組まれているが、地域との協力関係の構築にどのように取り組んでいるのか。

学校：地域連携コーディネーターが学校と地域の仲立ちをしてくれている。

地連コ：地域と協力して高校の魅力化を進めるに当たり、構想段階から地域の声を反映し、魅力ある学校づくりに向けた共通のビジョンをもつことが大切だと考える。

委員：学校周辺の豊かな自然環境を活用した教育は、柔軟に考える力、新しいことに挑戦する力につながり、どの進路先にも生きてくる。

学校：今後、自然環境を生かした学びや、ゼロカーボンシティの取組を進める地元の人々と連携した学びを進め、20～30年後の地域を支える人づくりに取り組みたい。

委員：高校卒業後の進路を見据えた学びの構想が必要。学校林をはじめとする「自然環境を学ぶ」こと以上に、生徒に付けたい力を見据え、幅広く教科等の学びに結び付けて、「自然環境で学ぶ」ことが大切。



- ・委員…県教育委員
- ・学校…県立伊香高等学校
- ・地連コ…地域連携コーディネーター